

(第1面)

<b>産業廃棄物処理計画書</b>	
令和5年 5 月 16日	
埼玉県知事 大野 元裕 殿	
提出者	
住所 東京都品川区大崎1丁目15番9号 氏名 グローバルコンポ-ネットテクノロジー株式会社 代表取締役社長 鳴川 浩志 電話番号 03-6636-9000	
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	グローバルコンポ-ネットテクノロジー株式会社 鴻巣工場
事業場の所在地	埼玉県鴻巣市箕田3121番地1
計画期間	令和5年4月1日 ~ 令和6年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	輸送用機械器具製造業
② 事業の規模	出荷額 120億 7130万円 (税込み)
③ 従業員数	308名
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙1参照

(日本工業規格 A列4番)



1-009-01

6-9

## 産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

別紙1参照

## 産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状	【前年度（令和4年4月1日～令和5年3月31日）実績】	
	産業廃棄物の種類	別紙2参照
	排 出 量	別紙2参照 t
	(これまでに実施した取組) 別紙2参照	
②計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	別紙2参照
	排 出 量	別紙2参照 t
	(今後実施する予定の取組) 別紙2参照	

## 産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・汚泥、鉍さい、廃プラ、廃砥石、蛍光管等に分別し保管している。 ・鉍さいは砂、ダスト、ノ等細かく分けている。
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・今後も分別の徹底を進める。

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
① 現状	【前年度（令和4年4月1日～令和5年3月31日）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	t
	(これまでに実施した取組)		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	t
	(今後実施する予定の取組)		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
① 現状	【前年度（令和4年4月1日～令和5年3月31日）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0 t	t
	(これまでに実施した取組)		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0 t	t
	(今後実施する予定の取組)		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度（                      年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	—	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	—	t
	(今後実施する予定の取組)		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
① 現状	【前年度（令和4年4月1日～令和5年4月31日）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙2参照	
	全処理委託量	別紙2参照	t
	優良認定処理業者への処理委託量	別紙2参照	t
	再生利用業者への処理委託量	別紙2参照	t
	認定熱回収業者への処理委託量	別紙2参照	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	別紙2参照	t
	(これまでに実施した取組) 別紙2参照		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙2参照	
	全処理委託量	別紙2参照	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	別紙2参照	t
	再生利用業者への 処理委託量	別紙2参照	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	別紙2参照	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	別紙2参照	t
	(今後実施する予定の取組) 別紙2参照		
※事務処理欄			

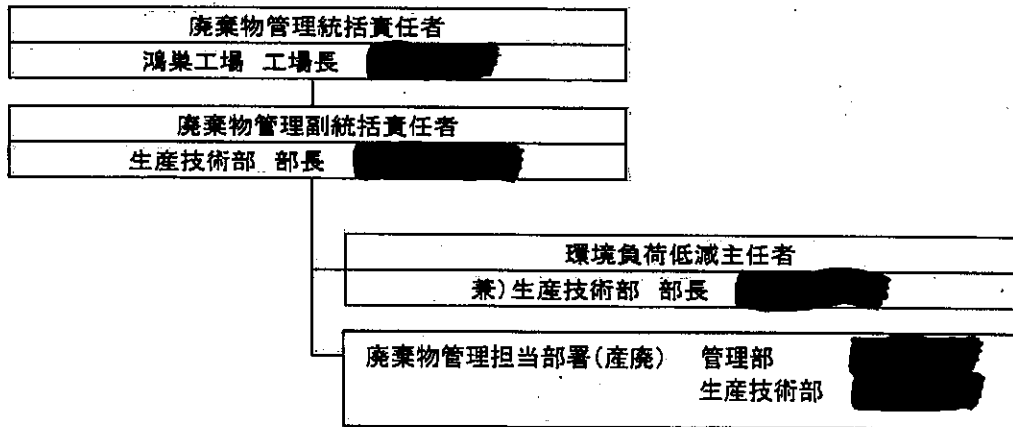
別紙 1

当該事業所において現に行っている事業に関する事項

④産業廃棄物の一連の処理工程	鉋さい(廃砂類)	中間処理委託	ばい焼 → 鑄物砂として再生
	鉋さい(ダスト)		焼成 → セメント原料として再資源化
	汚泥(塗型汚泥)		混錬 → 補助燃料としてリサイクル
	廃プラ(廃フィルター)		破碎 → 固形燃料としてリサイクル
	廃油(チューブ)		焼却 → サーマルリサイクル
	廃油(塗料かす)		焼却 → サーマルリサイクル
	ばいじん(電気炉)		溶融 → 路盤材として再資源化
	ガラスくず・陶磁器		破碎 → 分離して再資源化
	廃酸(りん酸)		中和処理 → 混合化でリサイクル
	蛍光灯、水銀灯		破碎 → 分離して再資源化
	木くず		焼却 → サーマルリサイクル
	乾電池類		破碎 → 分離して再資源化
	PCB		洗浄 → 分離 → 分解して資源化 JESCOにて適正に処分

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



別紙 2

産業廃棄物の排出抑制に関する事項												
【前年度(令和4年度)実績 令和4年4月1日～令和5年3月31日】												
産業廃棄物の種類	汚泥	鋳さい	ばいじん	廃プラ類	廃油	ガラスくず・陶磁器	廃酸	木くず(木製パレット)	蛍光灯水銀灯	乾電池類	PCB	
①現状	排出量(t)	165.180	6246.020	7.320	44.450	8.390	0.530	14.640	26.470	0.055	0.161	0.013
(これまでに実施した取組) ・不良率の削減 ・水銀灯、蛍光灯のLED化 ・産業廃棄物の有価物化												
【目標】												
産業廃棄物の種類	汚泥	鋳さい	ばいじん	廃プラ類	廃油	ガラスくず・陶磁器	廃酸	木くず(木製パレット)	蛍光灯水銀灯	乾電池類	PCB	
②計画	排出量(t)	170.263	6437.158	7.517	45.837	8.657	0.537	15.100	27.247	0.067	0.134	0.0398
(今後実施する予定の取組み) 全種類 ・不良率の削減 ・水銀灯、蛍光灯のLED化												

産業廃棄物の処理委託に関する事項												
【前年度(令和4年度)実績 令和4年4月1日～令和5年3月31日】												
産業廃棄物の種類	汚泥	鋳さい	ばいじん	廃プラ類	廃油	ガラスくず・陶磁器	廃酸	木くず(木製パレット)	蛍光灯水銀灯	乾電池類	PCB	
①現状	全委託量(t)	165.180	6246.020	7.320	44.450	8.390	0.530	14.640	26.470	0.055	0.161	0.013
	優良認定処理業者への処理委託量	165.180	0.000	7.320	44.450	8.390	0.000	14.640	0.000	0.055	0.161	0.000
	再生利用者への処理委託量	165.180	6246.020	7.320	44.450	8.390	0.530	14.640	26.470	0.055	0.161	0.013
	認定熱回収業者への処理委託量	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
(これまでに実施した取組) 全種類 ・再生を前提とした業者を選定し、処理委託を行っている。												
【目標】												
産業廃棄物の種類	汚泥	鋳さい	ばいじん	廃プラ類	廃油	ガラスくず・陶磁器	廃酸	木くず(木製パレット)	蛍光灯水銀灯	乾電池類	PCB	
②計画	全委託量(t)	170.263	6437.158	7.517	45.837	8.657	0.537	15.100	27.247	0.067	0.134	0.0398
	優良認定処理業者への処理委託量	170.263	0.00	7.517	45.837	8.657	0.00	15.100	0.00	0.067	0.134	0.00
	再生利用者への処理委託量	170.263	6437.158	7.517	45.837	8.657	0.537	15.100	27.247	0.067	0.134	0.0398
	認定熱回収業者への処理委託量	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(今後実施する予定の取組み) 全種類 ・委託先処分業者には定期的に現地確認を実施する。												